

ベルリン・フィルのシャルーン・アンサンブルが、再び東京藝術大学にやって来る。伝統の響きを守りつつ常に新たな挑戦と

改革を続ける唯一無二の演奏団体。今回は、世界で認められたダンサー森山開次とシャルーン・アンサンブルの新たな挑戦！

2017  
11.22  
19:00開演 (18:30開場)  
東京藝術大学音楽堂 [大学構内]

# 舞・飛天遊

©photo  
Shunichi Atsumi



シューベルト:《八重奏曲》へ長調 D.803  
モーツァルト:《クラリネット五重奏曲》  
松下 功:《舞・飛天遊》(舞ヴァージョン初演)  
ベルリン・フィル・シャルーン・アンサンブル  
出演:  
森山開次



Tokyo University  
of the Arts  
130th Anniversary

東京藝術大学130周年記念 公式プログラム

入場料:5,000円 (全席指定)

※曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますのでご了承ください。  
※就学前のお子様の同伴・入場はできませんのでご了承ください。

【チケット予約・購入方法】 9月25日(月)発売予定

●カンフェティチケットセンター

WEB (無料会員登録必要): <http://confetti-web.com/>

TEL (会員登録不要): 0120-240-540 (受付時間 平日 10:00~18:00)



【主催】東京藝術大学・東京藝術大学COI拠点

【協力】一般社団法人アーツ・イノベーション・プロジェクト(AIP)  
ヤマハ株式会社

【後援】一般社団法人日本作曲家協議会(JFC)

【お問合せ】

一般社団法人 アーツ・イノベーション・プロジェクト

TEL:03-6276-1177 (平日10:00~17:00)





# 八重奏団 × コンテンポラリー・ダンス × 自動演奏ピアノ - ダンサーがピアニストになる日 -

世界を代表するベルリンフィル八重奏団と、国際的評価が高い日本人ダンサー森山開次が共演する。しかしこの日のプログラムはそれだけでは終わらない。ダンサーは自らの身体表現を使ってピアノを演奏し、その音と八重奏団がさらなるアンサンブルを生み出す。

つまりダンサーは観客の目と耳の両方を刺激する芸術表現をその場で生み出すことになる。これを可能にするのが、ヤマハ株式会社の

研究開発部門が現在開発に取り組んでいる人工知能演奏システム。ダンサーが生み出す身体の動きをセンサーで逐次検出、音楽表現に変換して自動演奏ピアノ Disklavier™ を鳴らす。

今回使用する Disklavier™ は、ヤマハが生み出した最高峰のコンサートグランドピアノ「CFX」に自動演奏機能を持たせたもので、世界最高の再生精度を誇る。このピアノによってダンサーは八重奏団と共演する演奏者になる。本演奏会は、ベルリンフィル・シャルンアンサンブルと森山開次氏の全面協力によって実現した、伝統芸術と科学技術を融合させた大変貴重な試みになる。



2017.9.4 v1 by Tamura

## 舞・飛天遊

2016年  
に東京藝術  
大学 COI 拠点

2020 構想チーム

が開催した「音舞の調べ」は、AI を取り入れた画期的な公演として、今も高く評価されています。

20 世紀の巨匠リヒテルを現代に甦らせ、AI を通じて世界最高峰の合奏団シャルン・アンサンブルとの共演を行いました。まさに未来に芸術と科学の融合の可能性を切り開いた公演でした。

今年は、その AI の取り組みをさらに発展させ、舞人(ダンサー)森山開次が紡ぎ出す音とシャルン・アンサンブルが織りなす、特別な時間空間を創生します。

前半では、シューベルトの名作を奏でるシャルン・アンサンブルのエレガントな響きをご堪能いただけます。伝統と現代・洋の東西が出会う、奏楽堂ならではの公演です。

新しい時代への扉を開く一夜限りの公演。優れた感性と最先端な科学の世界における“才能の共演”です。



1983年にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の団員によって結成されたシャルン・アンサンブルは、ドイツの主要な室内合奏団の一つである。バロック、古典派、ロマン派の室内楽から現代の作品まで幅広いレパートリーを持ち、四半世紀以上の長きにわたりヨーロッパを始め世界各国の人々に大きな感動をもたらしている。革新的なプログラム編成、洗練された音色と活気溢れる演奏で高い評価を得ている。

## ベルリン・フィル・シャルン・アンサンブル Scharoun Ensemble Berlin

Vn.: Alessandro Cappone  
Rachel Schmidt  
Va.: Micha Afkham

Vc.: Knut Weber  
Cb.: Peter Rigelbauer  
Cl.: Alexander Bader

Bn.: Markus Weidmann  
Hr.: Stefan de Leval Jezierski



©Sachio Ishizuka

## 森山 開次 Moriyama Kaiji

ダンサー・振付家。神奈川県生まれ。21歳でダンスを始める。2001年エディンバラフェスティバルにて「今年最も才能あるダンサーの一人」と評され、同年自ら演出振付出演するダンス作品の発表を開始。静謐な佇まい、能など和のモチーフを題材とした独自の作品世界で注目を集め、05年ニューヨークにて発表の『KATANA』でニューヨークタイムズ紙に「驚異のダンサー」と記される。07年ヴェネチアビエンナーレ招聘、12年発表『曼荼羅の宇宙』(新国立劇場)にて芸術選奨文部科学大臣新人賞ほか三賞受賞。ひびのこづえ、川瀬浩介との協働『LIVE BONE』を国内外20都市以上で上演を重ねている。13年東京国体開会式典演技メインパフォーマー、文化庁文化交流使。NHK教育「からだであそぼ」レギュラー、「情熱大陸」「課外授業・ようこそ先輩」「日曜美術館」などメディア出演も多く、ダンスのみならず、演劇、映画、ファッション、広告など幅広い媒体での身体表現に積極的に挑戦している。

## 東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

交通のご案内

■ JR 上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、

東京メトロ千代田線根津駅より徒歩 10分

■ 京成線京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩 15分

■ 台東区循環バス「東西めぐりん」

② 上野駅・上野公園 から(東京芸術大学経由)

⇒ 5-1 東京芸術大学下車 [30分間隔]

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。



デザイン：水本 紗恵子